

話題満載

南部氏のルーツを辿る



46代当主 南部利文さん

10月4日(日)南部藩のルーツを尋ねて盛岡南部藩46代当主の南部利文さんと岩手県盛岡市から南部藩志会のみなさんが南部町を訪れました。

9時に南部町分庁舎に到着した皆さんをお迎えし、南部氏について研究されている川島文男先生より南部氏供養塔がある浄光寺の南部氏宝篋印塔についての話題を中心に浄光寺の生い立ちなどの内容で講演が行われました。

一行はこの後浄光寺へ向かい、南部氏供養塔の参拝や本堂の見学をしました。

みなさん、短い時間ではありましたが先祖の歴史にそれぞれ想いを馳せているようでした。



ふるさと講演会開催

9月2日(木)午後7時30分より総合会館2階の第3研修室で、商工会主催のふるさと講演会が開催されました。

講師は南部町大塩区出身のタスキン富士宮代表取締役社長渡辺清高様が『郷土が培う人間力』という演題で講演を行いました。

会場は立ち見が出るほどの盛況ぶりであり、みなさん真剣な眼差しで講演を聞いておりました。

会場全体が町を良くしていくという熱気に包まれているように感じました。



交通安全の願いが実現

9月21日(※)～9月30日(※)にかけての10日間、『全国秋の交通安全運動』が実施されました。

南部町でも街頭指導所の開設など交通安全の呼びかけ運動などが行われました。

この取り組みの一環として9月29日(※)には、保育所園児による交通安全パレードが実施されました。



運動期間は終わりましたが、交通事故で社会を目指す、運転するひとりひとりが子ども達や社会すべての人のために、安全運転に心がけるようお願いします。



元気です!! なんぶ

〜待っていてもひとがうるから頑張れる〜

内船上

山本 林さん 80歳

山本さんはいつも明るく元気で、笑顔を絶やさない方で幅広い活動がされてきました。

鉄道公務員として勤めていた頃に、峡南地区の医療問題に関心をもち、医療問題研究会を発足。地域の保健・医療・福祉の充実に向けた意見交換会などを活発に行なっていました。上組公民館長となつた際は「福祉学級」という名称で、障害者疑似体験や介護体験など、福祉の啓発活動を行いました。



現在は自らフープロを使って地域の健康づくりを啓発するための広報

を作成。徒歩や自転車を利用し、地域に暮らす高齢者や介護者へ広報の配布、声かけや励まし運動をしています。



また、福祉施設等への慰問に出向いて「健康づくり」をテーマにした替え歌、防犯対策についての話をしたり、多方面で活動をされています。山本さんは現在高齢者の健康づくりを目標に励んでいます。

この活動のやりがいはこの質問に『待っていている人や広報紙を取ってくれている人がいるから頑張れる』とのこと。趣味として、生きがいとして、これからもこの活動を続けていきたいとのことでした。